

ソフィアメディ訪問看護オンラインセミナー

精神科病院の 役割と機能について



より近くで、地域精神保健医療を共に考え、支えたい

2024/2/21

医療法人社団ハートフル川崎病院

看護部長 藤城久嗣

医療法人社団ハートフル川崎病院



【当院概要】

診療科：精神科、心療内科、内科

病床数：320床（救急急性期病棟60床・認知症治療病棟82床・特殊疾患病棟38床・療養病棟120床・ストレスケア病棟20床）

指定：指定保険医療機関・労災指定病院（精神科）

認定：精神科専門医制度研修施設・臨床研修病院（協力型）

常勤医：13名（精神保健指定医11名）

その他：デイケア・訪問看護・作業療法

A photograph of two rows of yellow letter tiles on a white surface. The top row contains the letters 'M', 'E', 'N', 'T', 'A', 'L' and the bottom row contains 'H', 'E', 'A', 'L', 'T'. A small green leaf is visible to the right of the top row.

M E N T A L

H E A L T H

本日の内容

- 01 精神科病院、入院形態について
- 02 精神疾患と治療について
- 03 当院の機能について
- 04 課題について

精神科病院とは？

- 精神障害者に対し、集中的な治療や看護、保護を行い、その社会復帰を促進する
- 精神疾患の発生の防止と、国民の精神的な健康の保持、およびその増進に努める
- 福祉の増進と国民の精神保健の向上を図ることを目的とする医療施設

精神科の入院形態とは？

	入院条件			備考	入院権限
	本人の同意	指定医の診察	その他		
任意入院	必要	不要	書面による 本人の意思確認	本人の申し出があれば 原則退院可能 指定医が必要と認めれば 72時間以内の退院制限可能	精神病院 管理者
医療保護入院	得られない	1人の診察	家族等のいずれか（場合により市町村長同意も）	入退院後10日以内に 知事に届出	
★ 応急入院			医療及び保護の依頼があるが家族等の同意が得られない	入院期間は72時間以内 入院後直ちに知事に届出 知事指定の病院	
措置入院	無関係	2人以上	自傷他害のおそれがある	国立・都道府県立精神科病院または指定病院に限る	都道府県知事
緊急措置入院		1人の診察	自傷他害のおそれが著しく急を要する	入院期間は72時間以内 指定医が1人しか確保できず時間的余裕がない場合に暫定的に適用	

★ 当院では対応していません。

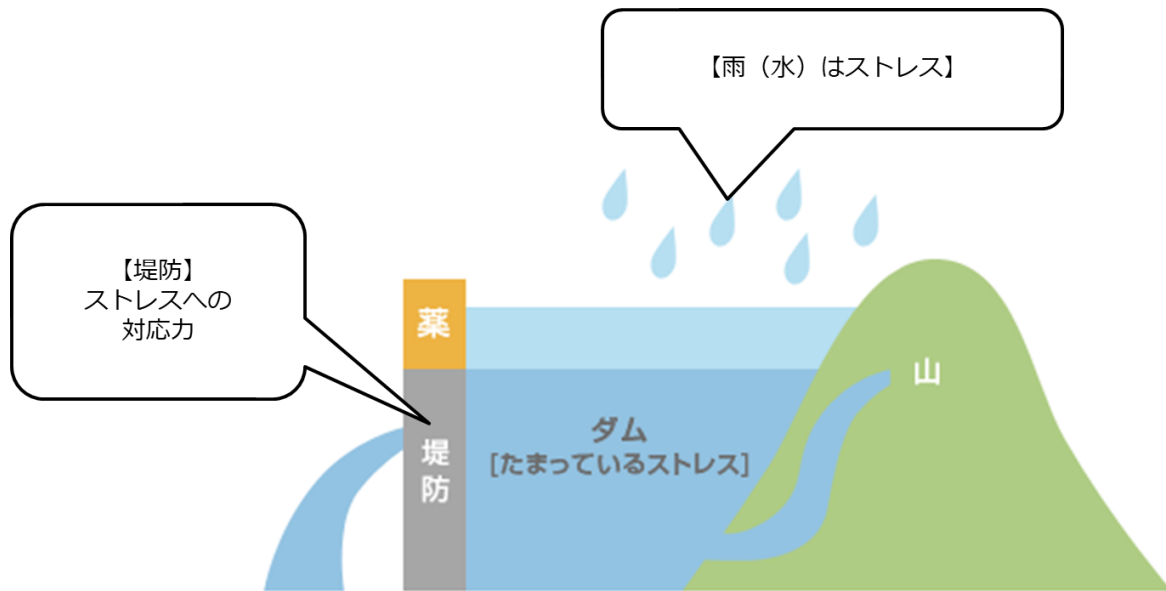
精神疾患の種類

- 統合失調症
- うつ病
- 双極性障害（躁うつ病）
- 認知症
- 依存症
- パーソナリティ障害
- 発達障害
- e t c …



精神疾患の構造と対処

～ストレス脆弱性仮説とレジリエンス（回復力）モデル



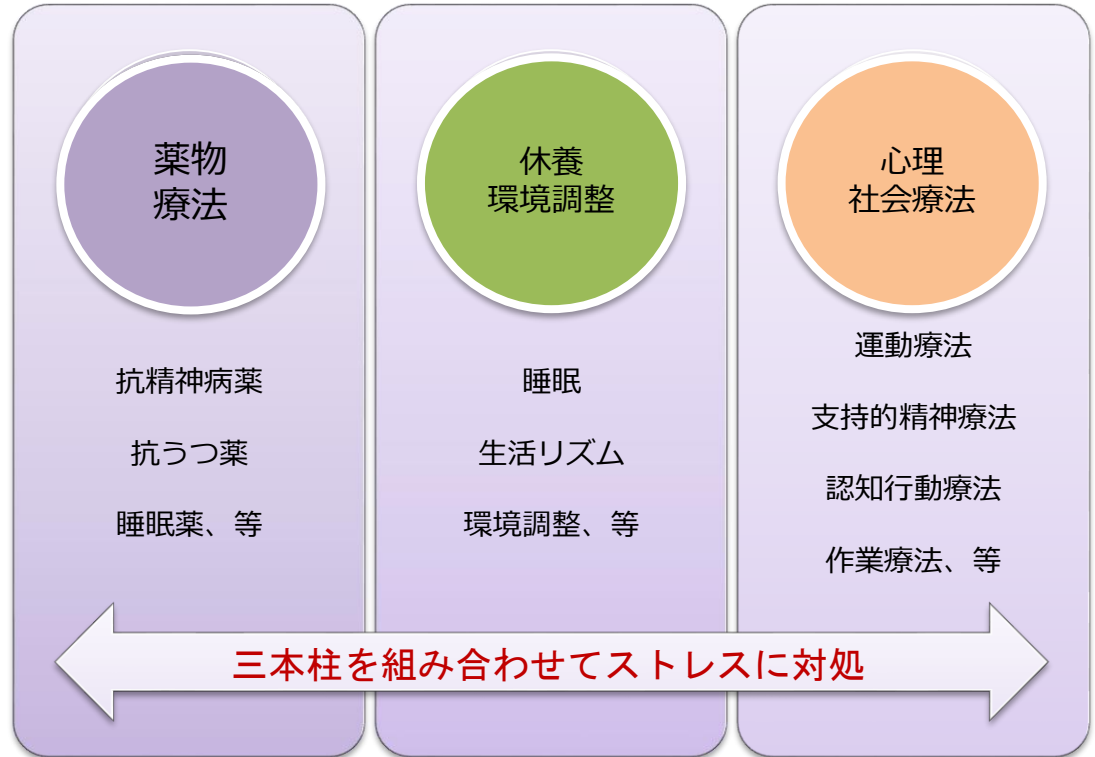
ストレスの水で
堤防が決壊
しないためには
どうすれば良いか



雨量を減らし、
水門を開き、
堤防を高くする



精神疾患の治療 ~ストレスへの対処として



ところで、精神科病院ってどのようなイメージがありますか？

暗い・汚い

鉄格子

怖い

カッコーの巣の上で



閉ざされた空間

当院の外観・内観



当院の機能

＜病棟構成：合計320床＞

	東館	病床数	西館	病床数
5階	精神科救急急性期病棟	25	精神科救急急性期病棟	35
4階	認知症治療病棟	34	認知症治療病棟	48
3階	特殊疾患病棟	38	女性精神科療養病棟	60
2階	ストレスケア病棟（休止中）	20	男性精神科療養病棟	60

* 1階は、外来、医局、看護部、デイケア、作業療法室、放射専科、薬剤科、栄養課、管理部門、等

精神科救急急性期（スーパー救急）病棟

<概要>

精神科救急医療を主に行う専門病棟のことで、精神科急性期治療病棟を凌ぐという意味から、精神科スーパー救急病棟と呼ばれるようになりました。

病気になりはじめの時期や急に症状が現れる急性期、自傷他傷リスクの高い患者において、集中的な治療が必要となる患者を対象としています。

<特色>

- 多くの医師・看護師が配置されており、手厚い治療が可能
- 統合失調症に効果的なクロザリル治療（基準を満たす必要のある）の処方が可能
- 修正型電気けいれん療法専門治療機器（サイマトロン）を完備し、全身管理下での高い安全性を確保

保護室について

<目的> 主に患者の刺激からの保護・安全の確保

<内容>

対象となる患者は、主として次のような場合に該当すると認められる患者であり、隔離以外によい代替方法がない場合において行われるものとする。

- ア 他の患者との人間関係を著しく損なうおそれがある等、その言動が患者の病状の経過や予後に著しく悪く影響する場合
- イ 自殺企図又は自傷行為が切迫している場合
- ウ 他の患者に対する暴力行為や著しい迷惑行為、器物破損行為が認められ、他の方法ではこれを防ぎきれない場合
- エ 急性精神運動興奮等のため、不穏、多動、爆発性などが目立ち、一般の精神病室では医療又は保護を図ることが著しく困難な場合
- オ 身体的合併症を有する患者について、検査及び処置等のため、隔離が必要な場合

身体拘束について

<目的> 主に精神症状の急激な悪化による自傷を防ぐ

<内容>

身体的拘束の対象となる患者は、主として次のような場合に該当すると認められる患者であり、身体的拘束以外によい代替方法がない場合において行われるものとする。

ア 自殺企図又は自傷行為が著しく切迫している場合

イ 多動又は不穏が顕著である場合

ウ ア又はイのほか精神障害のために、そのまま放置すれば患者の生命にまで危険が及ぶおそれがある場合

保護室、拘束帶



認知症病棟

<概要>

「認知症に伴う精神症状や行動障害、強度の不安・興奮状態により自宅や施設などでの生活が困難になった患者さまを対象に専門的な治療とケア」を行う病棟となります。

認知症症状による妄想・幻覚などの精神症状や徘徊・不眠・夜間せん妄などにより、自宅での生活が困難な方や施設などに入所中の方で認知症症状の増悪が見られる方が対象となります。

<特色>

- ・患者全員を対象に、医師の指示を基に看護師・専任作業療法士・心理士による訓練又は指導日常生活動作（ADL）に関連した訓練で、日常生活に必要な機能を維持させる訓練を行う
- ・2病棟で運営し、西4病棟では保護室を有することから入院受け入れを行い、東4病棟で退院調整に時間を有する患者、身体的合併症治療の必要な患者を受け入れる事による病棟役割の運営差別化

特殊疾患棟

<概要>

精神疾患を主病とした、重度の肢体不自由者等(日常生活自立度のランクB以上)重度の障がい者(但し、脊椎損傷等の重度障がい者・筋ジストロフィー患者・神経難病患者・脳卒中の後遺症患者及び認知症の患者を除く)が対象になります。

<特色>

- ・車椅子・寝たきり等の方が大半
- ・胃瘻（PEG）経管栄養、中心静脈使用の方なども対象
- ・精神症状の管理に加え、栄養管理・全身管理の実施

【機械浴】



精神科療養病棟

<概要>

救急急性期病棟での治療期間内で退院調整が間に合わなかった患者や引き続き治療の必要な患者、また長期入院患者が入院しております。

<特色>

- 入院期間が長くなっている患者に対し、医師をはじめ精神保健福祉士、デイケア等による多職種と連携し、グループホームや自宅、その他の施設に退院できるように支援
- 患者家族の思いを中心に具体的な退院へと繋げてる
- ADLが自立している患者が多く、作業療法等を行いながら、施設見学、試験外泊を行い主体的な退院に向けて行動できるよう支援

デイケア

<概要>

外来治療のひとつで、通所しながら地域で生活をしている方々が日中様々な活動を行う場所です。

病気の再発予防や、集団生活の中で対人関係の改善、定期的な参加で規則的な生活習慣を身につける等の目的があります。社会復帰や社会参加を促し、通所される方々の生活の質向上を目指し、自分らしい生き方を探していきます。

<特色>

- 利用目的に合わせたプログラムの選択が可能
- 自主性を尊重し、その人らしい生き方が出来るようサポート
- 毎週月曜日から土曜日の開所（午前、午後のみショートケアもあり）
- 他院通院中の方でデイケアのみの利用可能

精神科作業療法

<概要>

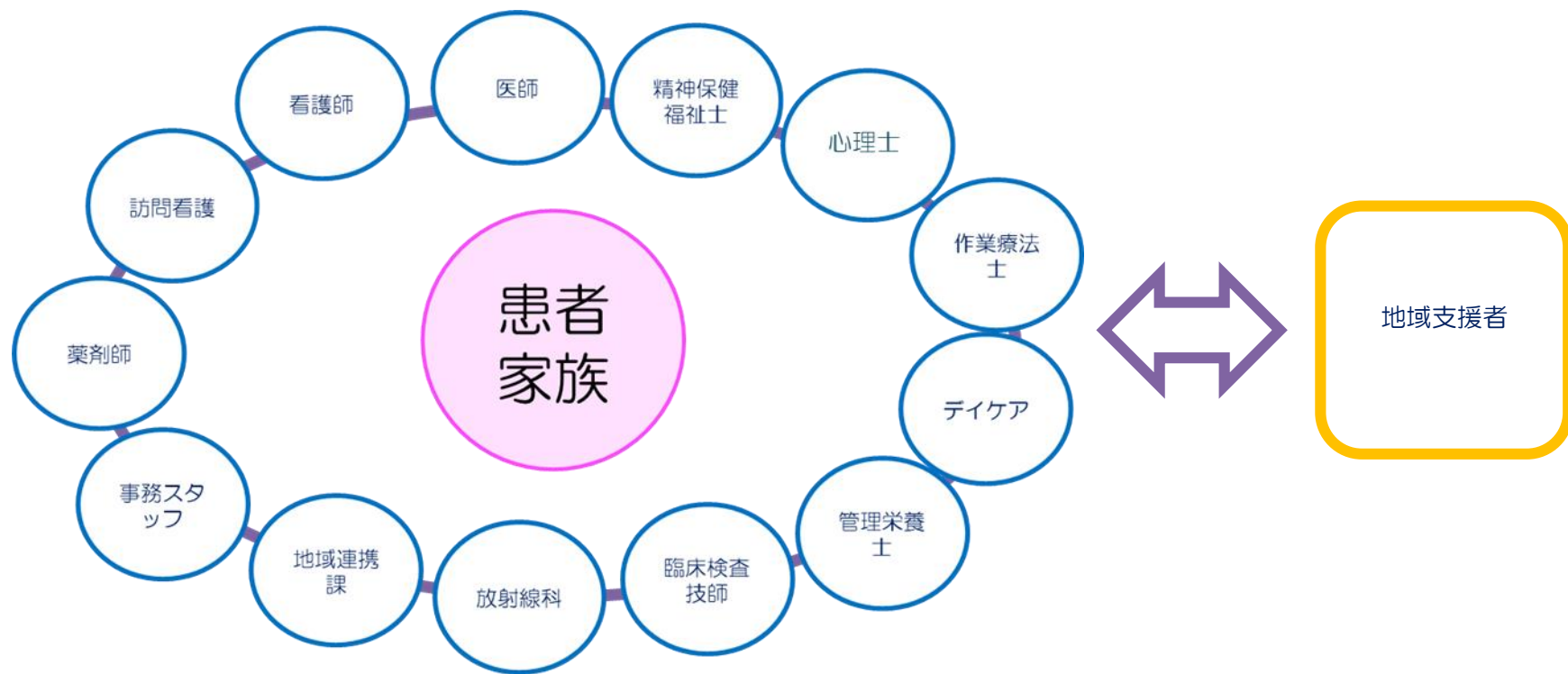
身体又は精神に障害のある方、またはそれが予測される方に対し、主体的な生活の獲得を図り、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて、治療、指導及び援助を行うことをいいます。

*一般社団法人 日本作業療法士協会：作業療法ガイドライン2012年度版より引用

<患者さんの作品>



多職種連携



多職種連携

患者さん家族を**主語**に多くの専門家が力を合わせ病気の快復、地域定着を目指します！

精神科受診のハードル

- 精神科受診は根本解決にならない？
- どうせ薬出されるだけでしょ？
- 精神論でなোস？
- カウンセリングで根本解決？
- 精神科通院…世間体が気になる





精神科病院の敷居が 高い人に対して

- カウンセリングは伴走者
- カウンセリングは適切な導入で効果あり
- 強い精神症状には薬物療法も必要
- 援助者は十分対象の意向を聞いたうえで背中を押す事も時には必要…
- 世の中ではメンタルクリニックも増えていますが、欧米では優秀な経営者はカウンセラーを抱えています

精神科医療の課題

- 精神科医療現場における人員配置の不足
- 身体的ケアシステムの脆弱性
- 長期入院患者の地域移行



ご清聴頂き、ありがとうございました。

当院では、地域との相互理解、
連携を進めて参ります。

引き続きのご支援お願い致します。